

【報道関係各位】

2017 年 1 月 25 日
丸紅新電力株式会社
一般財団法人 日本気象協会

丸紅新電力と日本気象協会は「電力需要予測システム」の実証試験を開始します

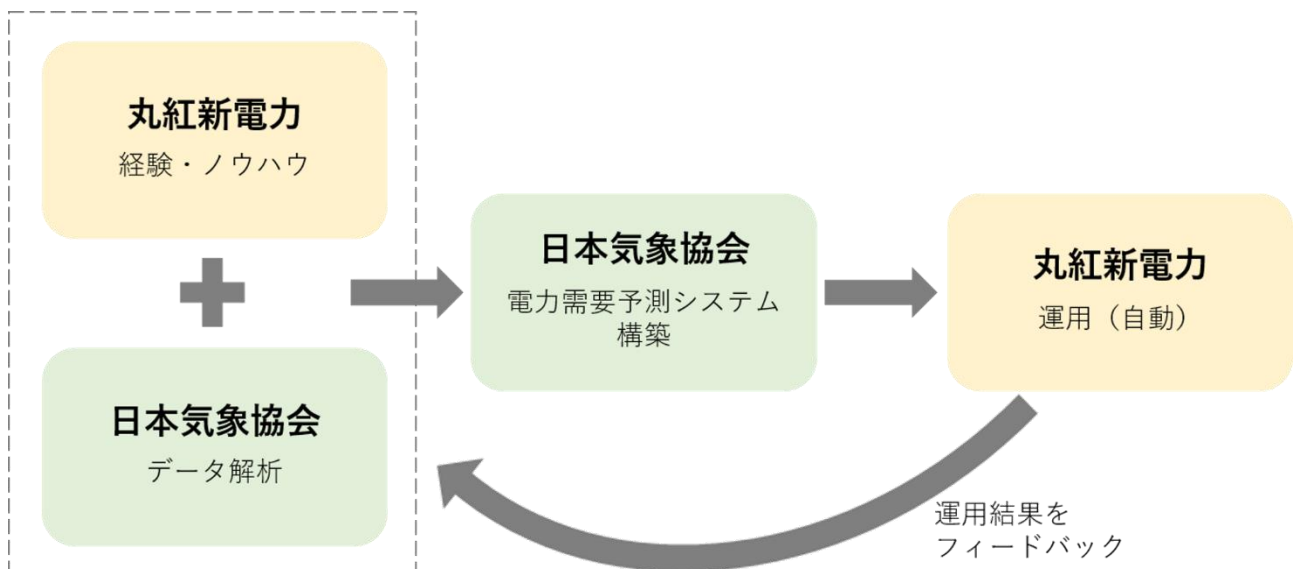
丸紅新電力株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：西山 大輔、以下「丸紅新電力」）と一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、会長：石川 裕己、以下「日本気象協会」）は、2017 年 2 月 1 日（水）から新電力需要予測システム（以下「本電力需要予測システム」）の実証試験を開始します。

電力需要は、気温や雨などの日々の気象条件や温暖な地域と寒冷な地域などの気候条件により、その傾向が大きく変化します。このため、電力需要を精度よく予測するためには、このような傾向の変化や違いを的確に捉え、電力需要構造を理解することが重要となります。そこで、丸紅新電力と日本気象協会は、「丸紅新電力が過去 16 年間に電力小売事業で培ってきた需給調整力」と「日本気象協会の気象予測技術と新たに導入した人工知能の技術」を融合し、本電力需要予測システムの構築を実現しました。

電力小売事業は 2000 年から始まった部分自由化から 2016 年 4 月の完全自由化まで大きく変革しており、丸紅新電力の利用者も、地域や業種の多様性が増してきているところです。そこで、本電力需要予測システムでは、直近の電力需要実績データを自動で解析するなど、今後の電力需要の変化にも対応しています。

今後も、丸紅新電力と日本気象協会は、双方の経験と技術を生かして、電力需要予測システムを発展させ、より高い精度の予測を目指します。

■ 実証試験のイメージ



＜本電力需要予測システムの概要＞

予測内容 : 地域の電力会社エリアごとの電力需要量
予測時間 : 7 日間先まで 30 分ごと（当日の実績データによる補正あり）
使用データ : 需要電力量実績、気象データ等
利用目的 : 販売量拡大に伴う電力需要予測自動化の精度向上

リンク :

丸紅新電力 : <https://denki.marubeni.co.jp/>

日本気象協会 : <https://www.jwa.or.jp/>

日本気象協会の電力需要予測技術 (<http://www.jwa.or.jp/service-business/service/776.html>)

以上